



子供が自立し

みんなの活躍で創り上げる学校

主体性

自律性

協働性

校長 島 章人

ハエになって見ときたい!

子供が夢中になって遊んでいるとき、その会話をこっそり聞いていると、面白いことを言っています。真剣に学習しているときも、面白い考えがどんどん出てきます。我が子のそんな姿を、「小さなハエになって教室の隅からこっそり見ときたい!」と思ったことはありませんか? 今回の学校だよりは授業中の様子を写真と子供の会話を交えながらお伝えします。



2年生が野菜園の草取りをしています。「パンツが濡れた!」と言う子がいます。雨上がりの草の上に座ってしまったのでしょうか。「先生、こっちは草が少ないからたくさん抜けます。」と矛盾することを言っていますが、少ない方が抜きやすいということなのでしょう。草取りの傍らで、虫取りが始まりました。「羽のある虫を捕まえた。」と喜んでいます。確かに、地べたにいる虫は、羽のない虫が多いです。その奥では、先生が「だれ? お尻でなすびを踏んだの!」と怒っています。草取りに夢中の子供はなかなかお尻まで意識が及びません。 2年生の生活科は、全ての体験が学習だと思うのです。



5年生では、タブレットを使ってSDG'sについて調べています。ある子が「『海の豊かさが失われる』って書いてあります。寿司が食べれなくなる。」と言うと、別の子が「ししゃもはかわいそう。」と言います。おそらく、たくさんの卵も一緒に食べてしまうことが「かわいそう」なのでしょう。

??とすると、海の豊かさが失われるから魚を食べれなくなるのか? 魚を食べるから海の豊かさが失われるのか? ううん。難しい問題です。

3年生では、3けた+3けたの筆算の学習をしています。早く終わった男子の子は、「思ったより簡単だった。暗算だと難しいけど。」と言っています。筆算の便利さを実感しているようです。一方、早く終わって、ノートを開いている女の子がいます。丸付けをして回っている先生が、「ノートを開いて見せんね。」と言うと、「ちらっ、ちらっ」と言いながら、もったいぶって見せています。もったいぶるその子なりの理由も、実はあたりします。教師は想像力を膨らませ、子供の内面を探りながら授業するのがとても楽しいのです。



ボランティアになって見てみたい!

先日、プリントでもお知らせしましたが、6月から第2・第4木曜日の5・6時間目に学力充実タイムを行う関係で、丸付けをしていただくボランティアの方を大募集しています。国語や算数のプリントをして、早く終わった子から丸付けをしてもらおうと並びますので、順番に丸付けをしていただければと思います。特典といっちは何ですが、普段、家では見られない子供の姿が見れるかもしれません。

子供には子供の世界がある!

「ハエになって見ときたい!」と思うものの、子供は、大人に見られていると分かった瞬間に、面白い遊びをやめてしまうことがあります。子供には子供の世界があって、大人がその世界をのぞこうとすると、パチンとはじけてなくなってしまうものかもしれません。

遠巻きに子供たちの言葉に耳を傾け、「ちらっ、ちらっ」と姿を見て、想像力を膨らませながら子供達の成長を見守るのがいいなあと思います。